

膵癌に対して重粒子線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、膵癌に対して重粒子線治療を行った患者さんの診療データ（後述）を用い、将来、これから治療をする患者さんの治療方針を判断する一助とすることを目的として「その患者さんに重粒子線治療を行うことでどれぐらいの治療効果が望めるか」を推定するAI（artificial intelligence：人工知能）の開発研究を行います。データはすべて匿名化され、いわゆる個人情報や個人を特定できるデータが使われることはありません。また、この研究が行われることで、現在治療している患者さんの治療方針が変更されることはありません。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先：窓口]へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] AIを用いた膵癌重粒子線治療の治療予後予測法の開発

[実施期間] 許可日～2025年3月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学研究所およびQST病院

[研究責任者] 立花 泰彦

[研究の目的] AIにより膵癌重粒子線治療前・治療中に得られる画像情報、検査情報などの臨床情報や年齢や性別などの基本的な情報から治療の予後を予測する技術を開発し、適切な治療を選択するためのツールとして役立てられるようにすること。

[研究の対象・情報の収集方法]

●対象となる方々

2016年5月以降、当院で膵癌に対する重粒子線治療を受けた方の中で、研究にデータを利用させていただくことについての同意が得られている方

●利用する情報及び収集方法

電子カルテなどに保存されている、診断や治療計画に使われた画像情報や検査情報などの臨床情報や、年齢や性別などの基本的な情報を収集します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報を削除し、匿名化した状態で臨床データの解析を行います。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います。）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

QST未来ラボ・量子医療AI研究グループ 立花 泰彦

電話：043-206-3230（平日9:00～17:00）

